

# なにわローランド通信

社会医療法人中央会 介護老人保健施設なにわローランド  
〒660-0892 尼崎市東難波町1丁目3番10号  
(電話) 06-6481-8010  
(HP) <http://www.chuoukai.or.jp>

6月

No.230

ありがとう！20周年記念特別号

## 介護老人保健施設なにわローランドの開設20周年によせて

中央会 尼崎中央病院の関連老健施設として潮江のローランドに続いて2003年6月1日に尼崎東難波の地に設立されました。場所は床下川の河川に沿った所で、川の両サイドには桜並木の遊歩道が作られています。毎年春には見事な桜を咲かせ、道行く人を楽しませて

ています。  
以前から日本は高齢化が進んでいると言われていています。65歳以上を高齢者人口とした時、高齢化率が7%以上であると高齢化社会、14%以上であると高齢社会、21%以上であると超高齢社会としています。この基準に当てはめると、日本は2021年時点で高齢化率が28.9%となっていますので、超高齢化社会に突入していると言えます。それ故、高齢者が介護を必要とする状態となり、介護施設の重要性が益々増しており、今の日本には充実した介護施設が求められています。

介護老人保健施設（老健）とは、主に医療ケアやリハビリを必要とする要介護者が入居できる施設です。病院と自宅の中間的な役割があるため、在宅復帰を前提としたリハビリが中心となります。入所可能な期間もそれほど長くなく、3カ月～1年程度です。入所だけではなくショートステイや通所もできるので、介護者の負担軽減につながっています。当施設は入所96人、通所デイは60人の定員で受けています。医師1人、看護師9人で医療のケアを行い、リハビリにおいて充実した設備とともに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など計12名の職員がきめ細やかに指導しています。また常勤、非常勤の介護士50数名が介護に携わり、皆様のお世話をさせて頂いております。

最近の3年間は新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、コロナ感染の第7波、第8波の折には当施設もクラスター感染が発生し、職員一丸となって対応し、コロナ感染の直接による死者を出さずに乗り越えました。

これまでの20年の歩みを振り返り、地域の介護施設としての役割を果たしてきたことを誇りとして、これからの将来の尼崎の地における介護の貢献をしていきたいと存じます。何卒宜しくお願いいたします。

2023年6月  
介護老人保健施設なにわローランド  
施設長 岡本隆弘





## なにわローランドの過去、現在、そして未来

介護老人保健施設なにわローランドは2003年6月1日より、併設のケアプランセンターなにわローランドとともに尼崎市東難波町において事業を実施して参りました。介護保険制度の創設が2000年4月ですので、新しい高齢者福祉施策の黎明期から安定発展に向けての移行期における開設であったと、当時の記憶を振り返り感じております。

介護老人保健施設は病院と在宅の「中間施設」、という言葉がその頃はよく言われておりました。利用者様は老健に入所されますと、3カ月から6カ月程度のリハビリ期間を経て、自宅での暮らしに戻って行かれる、という流れがある程度形になっておりました。しかし当時既に、施設入所期間の長期化傾向も顕著に現れてはじめていたと思います。

2008年にはリーマンショックの大きな波が景気動向と雇用情勢に暗い影を落としました。介護施設の職員採用活動にも多大なる影響が広がり、介護の仕事に関する待遇面等での負のイメージは今よりもずっと深刻でした。

その後、現在では加算となりました「介護職員処遇改善交付金」の制度も作られ、介護保険制度も徐々にではありますが安定成長期へと歩みを進めていったのではないのでしょうか。

そんな中、老健としてはやはり施設の目的意義そのものである在宅生活支援の取り組み、「中間施設」としての役割に対する原点回帰の必要性から、幾度かの制度改正を経て、在宅復帰機能を評価する施設類型が制度化されました。

なにわローランドは現在、在宅復帰支援の「超強化型」施設です。一段ずつステップを踏み締め、運営上の様々な課題と常に向き合いながら、何とか今の姿を留めているというのが実感です。

利用者様、家族様のご理解とご協力、地域近隣の皆様及び関係機関の担当者様方々の絶え間ない支援、職員の朗らかな努力の継続、これまでの歩みを振り返り記憶を辿るにつれ、感謝の念が込み上げて参ります。

この先の20年を見据え、今年度は施設の大規模改修工事を実施いたします。施設周りに足場を組んでの大工事となりますので、期間中はご不便をおかけすることかと思っております。

ひとまずもう20年頑張ります、と明るく宣言いたしますので、ご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



社会医療法人中央会

2023年6月  
介護事業部長  
和田秀人



# なにわローランド20周年を迎えて



平成15年6月に老健なにわローランド開所と同時にケアプランも併設され開設当初は3人のケアマネで始まった事務所でしたが現在は6人のケアマネが尼崎全域を走り回っています。

この地で20年継続して事業を行ってこれたのもひとえに地域の皆様に支えて頂いたからに他なりません。今後次のステップへと進んでいけるよう、母体の尼崎中央病院や中央介の介護部門との連携はもちろんのこと、他事業所の他業種との連携もとりながら、地域の皆様に更に還元できるよう高品質なサービスが提供できる事業所であり続けられるよう職員一丸となって切磋琢磨して参ります。

これからも末永いご愛顧を賜れますように伏してお願い申し上げます。



2023年6月  
ケアプランセンターなにわローランド  
所長 佐藤 和美

## 【沿革】

- |         |   |
|---------|---|
| 平成15年6月 | 介護老人保健施設<br>短期入所療養介護<br>通所リハビリテーション<br>ケアプランセンターなにわローランド 開設 |
| 平成18年4月 | 介護予防通所リハビリテーション<br>介護予防短期入所療養介護 開始                          |
| 平成24年3月 | 特定医療法人の承認   |
| 平成28年1月 | 社会医療法人の承認   |
| 平成30年4月 | 岡本隆弘施設長 着任  |
| 令和3年6月  | 訪問リハビリテーション<br>介護予防訪問リハビリテーション 開始                           |
| 令和3年12月 | 施設基準が、超強化型へ   |



# 「入所フロアのリハビリって、どんな事しているの？」



なにわローランドの入所リハビリでは 在宅復帰や施設で安全に自立した生活を送っていただくため、個人個人に応じたリハビリプログラムを作成し、リハビリを行っています。定期的に医師・介護・看護・栄養士・相談員・リハビリで ご利用者さんの現在の状態や今後どのように支援していくかを話し合い、リハビリプログラムも状態に応じて変更しています。



Mさんはこれからも車椅子で施設内を自由に移動して、自分でトイレに行くことを希望されています。そのためのリハビリプログラムとして①車椅子～ベッドやトイレの乗り移りを安全に行い、体力をつけるために歩行器歩行練習や足の筋力運動を行います。②下着やズボンの脱ぎ着を安全に行うため手の可動域運動や筋力運動を行います。③認知症の進行予防のため、難易度の高すぎないパズルを行うことで脳を刺激し、達成感を感じて頂きます。



人それぞれにプログラムが違うため、精神面の安定が必要な方には、屋上で花を見たり外気に触れることで気分転換を図ったり、歩行バランスの改善のため、屋上という路面の不安定な環境で歩行練習を行うこともあります。

## 【6月の予定】

- 創立記念メニュー：1日
- ご当地メニュー：5日（栃木県）
- 通所喫茶：19～24日
- 通所お誕生日会：24日
- マッサージ(通所)：毎週火、水、金、土曜日
- 入所お誕生日会：25日
- 楽食会：14日(2F)、21日(3F)
- 入所喫茶：毎週水、日曜日

## 【大規模修繕工事のお知らせ】

令和5年7月より、なにわローランドの大規模改修工事が始まります。四方に足場を組み、外壁の塗装、屋内での作業を予定しております。ご利用者様、ご家族の皆様には、大変ご不便、ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

